

野蒜復興新聞

震災復興メモリアルパーク

震災伝承館 9月オープン予定 広場等は今年度中

第2回野蒜まちづくり協議会役員会

6月16日(木)に第2回野蒜まちづくり協議会役員会が開催されました。今後、野蒜地域のまちづくりの機会へ参加を

震災遺構(旧野蒜駅プラットホーム)
 ※9月着工～年度内整備完了(予定)

- ・市民および訪問者の防災意識の向上を目的とした施設を整備する。
- ・旧野蒜駅を震災被害証言の震災遺構として保存、公開する。
- ・交通事業分野に係る多種多様な業種に対応した防災教育の場を提供する。

駐車場
 ※9月着工～年度内整備完了(予定)

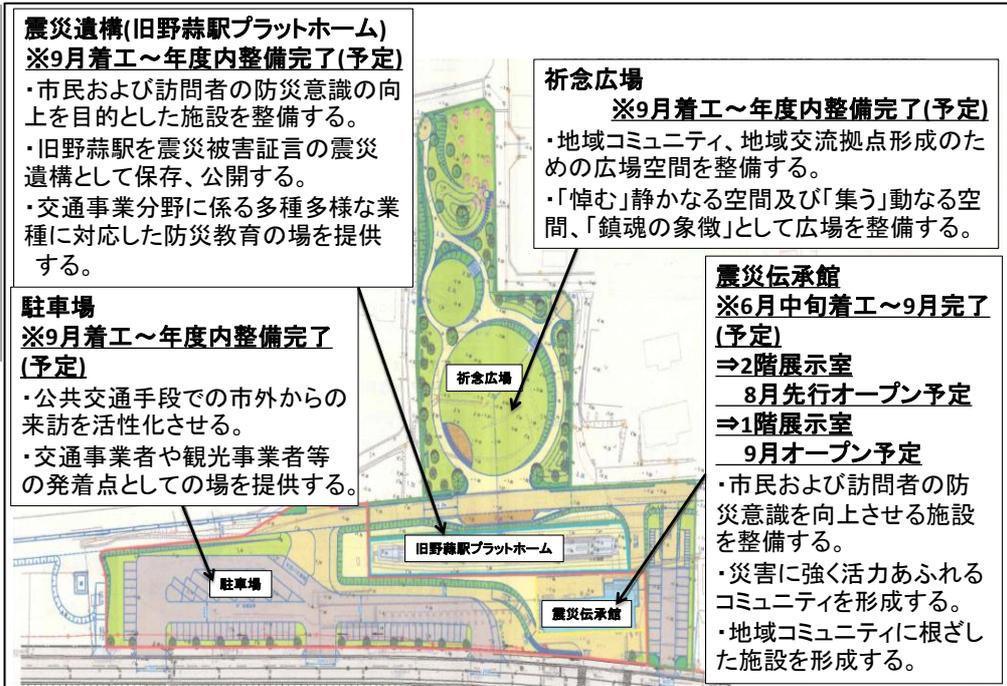
- ・公共交通手段での市外からの来訪を活性化させる。
- ・交通事業者や観光事業者等の発着点としての場を提供する。

祈念広場
 ※9月着工～年度内整備完了(予定)

- ・地域コミュニティ、地域交流拠点形成のための広場空間を整備する。
- ・「悼む」静かなる空間及び「集う」動なる空間、「鎮魂の象徴」として広場を整備する。

震災伝承館
 ※6月中旬着工～9月完了(予定)

- ⇒2階展示室 8月先行オープン予定
- ⇒1階展示室 9月オープン予定
- ・市民および訪問者の防災意識を向上させる施設を整備する。
- ・災害に強く活力あふれるコミュニティを形成する。
- ・地域コミュニティに根ざした施設を形成する。



▲それぞれの整備予定期間とコンセプト ▼ 6月16日(木)役員会の様子

役員会が、野蒜地域のまちづくりの機会へ参加を募り、生活利便施設の建設を予定し、検討していくことが決まりました。今後募集が開始されますので、是非ご応募ください。

6月16日(木)役員会の様子。震災伝承館を含む震災復興メモリアルパークは、野蒜地域交流センター(Nまつぶ)と、その周辺に整備予定です。説明では、震災伝承館(Nまつぶ1階と2階に整備)が9月に整備完了予定、旧野蒜駅プラットホーム、祈念広場、駐車場の年度内に整備を完了する予定だとしています。



みんなに
 参加して
 もらいた
 いなく!

野蒜まちづくり協議会
 イメージキャラクター
 マックン

地場産品育成事業が、策定された野蒜まちづくり計画に基づき、人々の出番づくりを通して、良好なコミュニティの形成に寄与していきうとし、始まったものです。現在、野蒜市民センター向かいの土地を活用し、農園整備と、ハーブ等の植栽を行っています。ご興味のある方は是非一緒に活動しませんか?



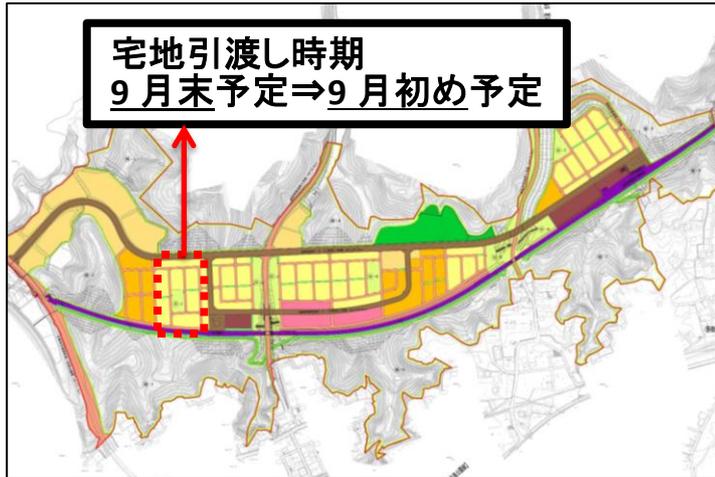
▲整備しながら皆で植えています。

地場産品育成事業スタート!

野 蒜 北 部 丘 陵 振 興 協 議 会

宅地引渡し時期早まる

6月13日(月)の施設環境検討委員会に先立ち、事務局から、当初9月末の宅地引渡し予定であった中央エリアと西部エリアのうち、西部エリアが9月初めの引渡し時期に早まることが報告されました。



**宅地引渡し時期
9月末予定⇒9月初め予定**

▲ 引渡し時期が早まるエリア(点線内)

施設環境検討委員会

6月13日(月)に第11回施設環境検討委員会が開催されました。本委員会では、西部エリア集会所では、西部エリア集会所の仕様等について説明がありました。

次に協議事項では、水の公園水遊び場制札板の注意事項について、市の担当課から案の提示があり、より分かりやすくするため、注意サイン表記および表現の一部を変更することになりました。

続いて、防犯灯等配置計画について、市の担当課から街路灯と防犯灯の配置について説明があり、委員からは、災害時に小学校や公園への避難を想定した照明設置の意見等が出されました。本協議により、今回の照明設置計画を基に施工を進めることが確認され、野蒜1号線と2号線の防犯灯については、今後、防犯路の設定を踏まえた配置が整い次第、委員へ示していくこととなりました。

▼西部エリア集会所設計業者の説明を受ける委員の方々



野蒜を知る旅〜野蒜館〜

仙石線上り電車に乗り野蒜駅に近く手前に高架橋があるがその右手に見える山が今回の歴史探訪である。往古、ここは館山と呼ばれており住所は、野蒜中下山之坊である。山頂に「野蒜館」があったと言われている資料「仙台領内古城・館第2巻」によると高さは約50m東西70m南北200mにもおよぶスケールである。その中央頂上部の遺構は、鋭い岩頭上にありその要害振り訪れた者をして驚かせるに足りるとある。

山頂には東西20m南北40m程の楕円形平地がありこれが本丸。これを中心として北面に三段の平地がありそれぞれ一の丸二の丸が構成され。二の丸には井戸跡も認められたとある。



▲ 本丸跡地の水道タンク

登路は、北西面にあり往古の大門口と推定される又北面谷の対岸には小山があり平地には明神様が奉つてあり、その北の高い所は見張り台があったと言われている。

安永の風土記によれば右は、鎌倉権五郎景政(鎌倉周辺の領主、後三年の役(1083〜87)で片目を失いながら16歳で奮戦した武将)の仮の館とも伝えられている。元文7年(1742年)より段々に松を植林し当時は古館御林と言われていた。

現在は水道事業団の野蒜タンクが本丸跡地に設置されており野蒜地区の水道供給に無くてはならない重要施設になっている。

水道山からの眺望は、鳴瀬川の河口から牡鹿半島、石巻方面がパノラマのように見え、昇る朝日は輪の輝きを放つ。明神様のお祭りの賑わいぶりと餡子餅の味は、忘れる事の出来ないこの頃である。

文・亀岡地区 佐々木勝久



▲ 仙石線(手前)と館山(奥)